

やいた未来ミーティング（子育て世代）会議録

日 時：令和元年11月19日（火）

19：00～20：37

場 所：片岡公民館

出席者：市長

乙畑小学校PTA役員 3名

1 開 会 19：00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

平成28年7月から2年間をかけ、矢板市内65行政区で「未来づくり懇談会」を行った。1,100名を超える市民の方から意見や要望があったが、参加者の8割は60歳以上という状況であった。それを受けて平成30年度は「未来づくり懇談会」を補完する形で、子育て世代や市内3つの高校生、矢板市PTA連絡協議会を対象とした「やいた未来ミーティング」を10回開催した。今年度は、小中学校単位で開催し、意見や要望を聞かせてもらいたい。

3 説明事項

「矢板市子ども未来基金の創設について」

市長

この基金を始めたきっかけは、子ども医療費助成制度の問題からスタートした。矢板市では、平成24年度から高校3年生まで医療費の無償化をしているが、無償化の方法としては、医療機関の窓口で支払い後、手続きをしてお金が戻ってくる償還払方式。

近年、栃木県内の市町では、医療機関の窓口で支払いが必要ない現物給付方式が増えてきたことから、矢板市としてどうするかを平成30年度に検討を行ったところ、同じ医療費の無償化でも、現物給付方法にすることで、矢板市の負担額が大幅に増えることがわかった。

理由としては、病院に行くほどでもない病気等であっても受診してしまう医療のコンビニ化や、国の負担金や県の補助金の減額がある。また、他の医療費助成制度を利用しなかったり、各種健康保険の付加給付が受けられないなどがあった。他にも小中学生など加入している、日本スポーツ振興センター保険を手続きが面倒くさいと言って利用しないなど複数の要因がある。

現物給付を行っている市町の医療費の伸びを見て試算したところ、中学3年生まで現物給付を拡大した場合には年間4,500万円、高校3年生まででは年間6,200万円も負担が増えることが確認された。

これらの要因を踏まえ検討した結果、市としては現物給付ではなく、中学3年生まで

拡大した場合の4, 500万円をもっと違った使い方にしようと、子ども未来基金を創設し、子ども子育て支援に繋がっていくような取り組みをしようと決断をした。

基金の用途については、平成31年2月から3月にかけてPTA役員にアンケート調査を実施し、1番多かった給食費の助成と4番目の小中学校の学用品購入の助成とした。2番目に多かった予防接種の助成拡充については、平成31年4月からインフルエンザの予防接種の助成年齢の拡大が1月の時点で決定していたことから除外とした。3番目の学校施設の整備や備品購入についても、具体的な内容を聞いてみたところ、エアコンの設置であった。エアコンの設置についても、1月の時点で全ての小中学校の普通教室にエアコンを設置することで決定していたことから除外とした。

本年度は、基金4, 500万円の3分の2となる3, 000万円くらいを使用する。

また、償還払い方式の利便性向上として、我々の努力不足もあったかもしれないが、平成30年度に実施した懇談会で、1レセプト500円かかるとか、申請方法が複雑、郵送申請についても意外と知られていなかったことから、平成31年4月から子ども医療費の申請書類と郵便受取人払いの封筒を医療機関に設置することとした。

償還払いは面倒だと思う方は多いと思うが、まだまだ利便性を向上できるのではないのかと思っているので、市では現物給付の対象年齢を引き上げないという選択をした。

その上で限られた財源用途を、引き続き皆さんをはじめとする小中学生の保護者の方から声を聞きたい。年度末にはもう少し広い範囲でアンケート調査をしたいと考えている。ムリ、無駄のない「矢板モデル」という医療費助成の制度や、子育て支援制度を確立していきたいと考えている。

3 意見交換テーマ

「子育てしやすいまちづくり」

市長

テーマに入る前に材料を提供したい。本年度の矢板市立小中学校5大ニュースということで、一つ目は全国学力テストで市内の小学6年生が昨年につき、全教科で全国平均を上回った。全国学力テストは、全国の小学6年生と中学3年生を対象に毎年実施をしているが、市内の小中学生は昨年度まで、県の平均はもとより、全国平均で上回ることはなかった。昨年度の全国学力テストでは、教育委員会のいろいろな取り組みが功を奏し、小学6年生の国語A・B、算数A・B、理科の全ての教科で県平均、全国平均を上回った。本年度も小学6年生は全教科で全国平均を上回ったところ。今の教育長になってから、学校での授業改善の努力と家庭学習の取り組みの成果が具体的な形になってきたと思っている。今後ともさらなる学力向上に取り組むと共に、中学3年生については全国平均を全教科で上回ったことがない状況なので、中学生の学力向上に結びつけたい。

2つ目は、全ての小中学校普通教室にエアコン設置ということで、6月末までにエアコン設置をした。

3つ目は、トイレの洋式化。平成28年の洋式化率は24.2%。県内25の市町で最下位。平成29年度に矢板中学校の整備、本年度は東小学校での工事が間もなく始ま

る。また、矢板小学校分も国の予算が付いて、年度内に整備を進めていく。

4つ目は未来基金。5つ目は、小中学校の適正規模・適正配置の建議だが、現在、計画づくりが内部で進められている。乙畑小については、乙畑小、片岡小、安沢小の安沢地区、片岡中学校に進学する区域を一体化して、小中一貫校にすると提案がでている。最近では施設一体型の小中一貫校が増えてきて、小山市や佐野市では増えている。

あくまでも教育的見知からだが、小学校と中学校を一緒にしてどこに造るかというのは、なかなか難しい。また、順番をどうするかも統廃合を進めるうえでは必要となる。さらに、安沢小の安沢地区は片岡、中地区は東小に統合する案が出されている。東小のキャパや建て直しなども考えなければならない。

Q 1

保護者

子どもが生まれた時に実感したのが、他の市町村は現物給付だったが、矢板市の場合は償還払いなので、単純に子どもを病院に連れて行った時に手続きが面倒くさかった。今は医療機関にあるという話を聞いていいなと思ったが、出し忘れや領収書の紛失などがあるので、スマートフォンからメールを送るなどができれば。システムのお金の問題になってしまうが、利便性等を高めてもらえると助かる。

市長

子ども未来基金の申請の関係では、お母さん方の中にはいろいろ工夫をしている。

秘書広報課

市のホームページで申請書配布サービスがある。そこにエクセルのシートが入っているので、ダウンロードして使っている方がいる。

市長

やってはいるが、PR不足というか、郵便で申請出来るというのもみんな知らない。

保護者

市役所の窓口に行った際に、子ども課というイメージがあるが、書類を忘れて今度と思っているうちになくなってしまう傾向がある。

市長

今回から料金受取人払いの封筒を始めたので利用してほしい。

保護者

明日、子どもを歯医者に連れて行くので一度見てみようと思う。

Q 2

保護者

学習面では、ともなり学習教室は市内の小中学生を対象に縦割りで土日にやっていて、すごくいいと思っている。市外の方に聞くと、夏休みの宿題や日々の宿題のボリュームが乙畑小は多い気がする。先生達の熱意や小規模校なので先生と子ども達の距離が近いという要因があると思う。ひまわりスクール（以下、ひまスク）は、宿題をする時間も設けているので、学力向上にも反映されていると思っている。今後も今の状況が続けば

いいと思っている。

小中学校の適正配置については、知っている人と知らない人の個人差がある。意見を募るわけではないが、何か機会があるといいのでは。また、統廃合の関係は定期的にリリースしてもらえると有難い。

市長

学力の関係では、学童保育は厚生労働省所管なので積極的には勉強を教えていない。

保護者

ひまスクでもスタッフが直接指導することはしていない。答えがどうしても分からないと言うときは、子ども達も聞いてくる。宿題時間は30分くらい取っている。

市長

ひまスクの会長に聞いたが、宿題をしないとおやつを食べられない。結果として学習する習慣がつく。

保護者

会長は本当にいろいろやってくれる。保護者がなかなか出来ないことを思ってくれている。ひまスクに行ったら宿題をやり、みんなでおやつを食べて遊ぶという時間を設けているのはいい結果。地道な所だと思うがいい取り組みをしているのだと思う。

市長

小中学校の適正配置については、その前につつじが丘の学区問題がある。平成28年度の県住宅供給公社のパンフレットでは、学区が乙畑小・片岡小となっている。今は学区制を出来るだけ厳格化する流れであるが、きょうだい片岡小に行っていれば片岡小に通学するというケースは今もある。乙畑小の児童数は、2019年は94人。来年には100人を突破する。2023年には119人、2024年は118人と増えて行く推計となっている。他の小学校では減少しているのに、増えているのは乙畑小だけで、子どもの数が増えているのに、なぜ統廃合なのかとなる。つつじが丘は、まだまだ新しいお宅も建っている。最終分譲も始まり、小さいお子さん連れの家庭が引っ越して来ると、更に増えるのが見込まれる。

保護者

ひまスクも児童が増えている。正直、ひまスクもキャパを超えていてスタッフ数が足りない。保護者も長期休業期間は積極的に児童をみてもらおうなど、人手が回らない事態が続いている。大槻や乙畑の児童は減少傾向だが、つつじが丘は増えているので、頑張ってもらいたいと思っている。

市長

ひまスクのキャパは不足している。ロッカーを動かすなど出来ることはした。場合によっては利用規制となってくる。

保護者

上級生はという案があった。下級生の1～3年は積極的に見て、4～6年は徐々に利用者を減らしていくようなことをしないと。ひまスクは祖父母世代の60歳以上の高齢者の方がみているので、健康面や体調面も配慮しなくてはいけない。1～3年は元気がいいので大変なところもあると思っている。キャパもだがスタッフの確保も将来の課題。

また、利用者を制限するとなると、うちの子はダメで、あの子は良いとなると、保護者の確執が生まれる可能性もある。

市長

以前、乙畑小にも学童保育の施設を建てる話があったが、乙畑小の敷地は公図が混乱していたり、私有地が入っていたりで難しかったという。先ほどの話は課題として持ち帰る。児童数については、つつじが丘もどこかでピークは来る。乙畑、大槻の子どもの数も少なくなることを考えても片岡地区の統廃合はすぐではないと思っている。

適正配置の情報提供は言われるとおり。来年廃校という話もでていた。新聞などで公開しているが浸透しない。

保護者

子どもが入学したときは57人しかいなかったのですが、統廃合という噂はすごかったが、今はつつじが丘からの子が増えて、入学した時の倍になっている。1～4年生は元気な子ども達が多く、今も上級生の方が静か。

市長

つつじヶ丘は成功例。矢板市は大型分譲地が少ないので、若い世代が引っ越してこないという思いがある。矢板の中心市街地でも空き地や空き家が増えてきた。安い物件であっても、昔ながらの近所付き合いの所に若い世代は建てようとは思っていない。つつじが丘は片岡駅西口が出来たこともあり、加速したというのもあると思うが、片岡地区の中でも、地元の不動産業者や開発業者の方に努力してもらい、大型の分譲地のようなものを造成できる基盤ができればと思っている。土地利用のあり方は、今後もよく検討したいと思っている。

Q3

保護者

今年の夏も短かったが猛暑であった。エアコンの設置は子どもにとってすごく良かったと思う。学校のプール当番で監視をしたが、確か4日ぐらいしか開放されなかった。普段の授業でも雨や水温の上昇なので入れないなど、健康面や安全面を考え先生達の判断のもとだと思うが、いっそのこと矢板市で屋内プールを造り、小・中学校が持ち回りで利用する。土日は一般市民に開放するなど。造るとなると建設費用など難しいと思うが、そうすれば1年を通して利用出来るのではないか。小学校の体育の授業だけで、クロールで25m泳げるのは正直難しいが、泳げて損することはないし、水中運動は全身運動なので、医療費の削減にもなるのでは。

市長

屋内プールの件は小中学生の保護者だけではなく、年配の女性の方にもよく言われる。スイミングも無くなり、さくら、大田原、西那須野のスイミングスクールのバスが走っている状況。健康増進や生涯スポーツの振興のためにも、プールはあった方がいいと思っている。中学校では、夏休み前の矢板運動公園のプールで授業を行っている状況だし、小学校も年間使える屋内プールを造り、そこに運んで通年で学校ごとに分けて授業をするのも考えられると思う。市議会でも質問があったので研究している。話にあったよう

に健康増進には必要な施設だと思っている。そこに小中学校の授業や民設民営などの発想をひとひねり、ふたひねり出来ればいいと思っている。体育館やスタジオなども整備出来ればいいなと思っている。なかなか難しいとは思いますが。矢板運動公園のプールも老朽化しているので考えなくてはいけない。

Q 4

市長

とちぎフットボールセンターの活用はどうか？受け止めとして。意外に利用してもらっていると感じているが。

保護者

矢板中央高や市内でもヴェルフェのユニホームを着ている子をみかけるなど、知名度がある。矢板はサッカーのイメージがあると思うので、私は賛成。

市長

民設民営の手法を導入して、市の負担も10億から1億円ぐらいまで下げた。中には1億円もかけたのかと言う人がいるのも事実。サッカー以外の利活用を提案してもらえるとありがたい。この前は、SOMPPOボールゲームフェスタを開催し、サッカー以外にもアメフトなどを行った。

保護者

子どもが興味を示した。競技を体験できてと書いてあった、

市長

施設整備は限られた予算の中、いろいろ工夫をしている。これからのキーワードは複合化だと思う。1つの施設にいろんな機能を付けていくのが必要になると思う。

Q 5

保護者

先ほど市長からあった大型施設の分譲。土地が余って太陽光発電などがあるが、矢板市を活性化させる面では、いろいろな企業や住宅関係などが必要。ほかに道路が狭かったりするので道路整備やコリーナの下水道など、予算があるかと思うが徐々に整備は必要では。

市長

矢板は場所的にいいところだと思う。4号も通り、東北自動車道のインターチェンジもある。駅も矢板・片岡に2駅ある。新幹線の駅はないが非常に交通の便はいいと思う。工場を誘致するにしても、商業施設を立地させるにしても、分譲地を造成するにしても土地の権利関係や底地の公図混乱などがある。特に矢板駅の中心市街地開発の可能性が高いと思われる所で、そういう状況にあるのが非常に残念と思っている。例えば、大きな土地を事業者が仕入れて造成するにしても、公図がぐちゃぐちゃだと分筆することができないし、開発もなかなか難しい。そういうところで地籍調査などを導入して、開発しやすくする基盤や環境を整備するのが矢板市の責任。矢板の中心市街地は、昨年度、元カインズホームの建物があつた周辺で地籍調査を行った。さらに規模を拡大して、鹿

島町、本町、扇町一丁目を今年行っている。そうすれば、ダイユーの向かいなどにある土地も活用されると思う。

Q 6

市長

先ほども触れたが、昔ながらの組内で近所付き合いしているところに、家を建てようと思わないですね？

保護者

思わない。

市長

父母が住んでいる所など、元々馴染みがあるところなら別だが。そういう発想は遅れていると感じるが。

保護者

それを言ってしまうと誰しものが矢板市に来てもらえない。そこに住みたいとならないと思う。実際、隣に住もうかという難しい話だが、どういうふうにして緩和していくかということが活性化に繋がるのではないか。

Q 7

市長

矢板南産業団地は平成9年9月からの始めた分譲が終わった。あとは敷地の拡張もあるが、市で持っている入口の無い土地と企業局が持っているところを交換させてもらうなど、もう少し売れる区画を生み出す努力はしている。またシャープの跡地利用。シャープは完全撤退したわけではないが、半分くらいは遊休化している。シャープと打合せの中では、今ある建物を使うところを紹介してということで何件か紹介した。大きすぎるのと古いので難しいという話はしたが、更地にすると土地代金より、解体撤去の費用の方が高くなってしまう。ただ、そのくらい踏みこむような形で土地利用を本格的に考えていかなくてはならないと思っているが、シャープの土地なので難しいものはある。

保護者

民間事業者を抜きにして道路を造るのはあまりよろしくない。やはり、市町が一番道路がメインになってくる。那須塩原や大田原は道路の造り方が上手。

市長

私は県庁の大田原土木事務所の用地課で用地買収の仕事をしていたが、大田原や西那須野の人は土地離れがいい。道路が良くなるとまちが良くなると認識しているので、道路整備もはかどるし周辺の開発も早い。矢板市は土地離れの悪さも前段にはあるので、克服していかないと矢板市がせっかく計画しても実現しない。何となく雰囲気は少し変わって来ているという気はしているので、機会を逃さず取り組みたいと思う。

Q 8

保護者

児童の登校の道路だが、県内でも鹿沼で痛ましい事故があった。矢板市内で今のところ大きい事故がないから良いと言う訳ではない。大槻、乙畑の道路はガードレールも無いし、歩道も無い農道を通る児童もいる。地域の方に見守ってとなっているが、行政として危険箇所等を保護者から意見を聞くなどして、登下校の安全確保を引き続きお願いしたい。

市長

通学路の安全確保は、ソフト面とハード面の両面から行わなくてはならないと思う。ソフト面で言えば、登下校の見守り活動。特に片岡地区はご年配の方を中心に行ってもらっていると思う。ハード面では協議会で意見交換を行っている。協議会は市だけではなく、警察や、道路の管理者などが、点検や現地調査も含めて行っている。県は学校周辺1km以内の県道の歩道については、優先的に整備をすることを明確に打ち出して取り組んでいる。片岡中近くの県道塩谷喜連川線もなかなか用地買収が進まなかったが、優先順位が上がり今工事を行っている。矢板市も予算は無いが、県の考え方に即して学校周辺の道路整備はできる限り優先と考えている。

保護者

大槻・乙畑では街灯が少ない。ちょっと幹線道路を離れると真っ暗。冬場は日没時間も早い。小学生がその時間に1人で帰ってくることはないと思うが、片岡中の生徒とか自転車で登下校することもあるので、街灯を増やすのも道路の整備も合わせて優先的に取り組んでほしい。

市長

街灯については、予算の上限はあるが申し出があれば、順次取り付けている。電気代は各行政区で持つルールなので、行政区長に相談してほしい。

保護者

大槻は農道の直線にLEDを設置してもらった。私が子ども時は真っ暗。

市長

乙畑小の安全確保というと踏切。最近は踏切事故もないが、気をつけなくてはいけないポイントだと認識している。また、何かの機会に意見を聞かせてもらいたい。

6 閉 会 20:37